

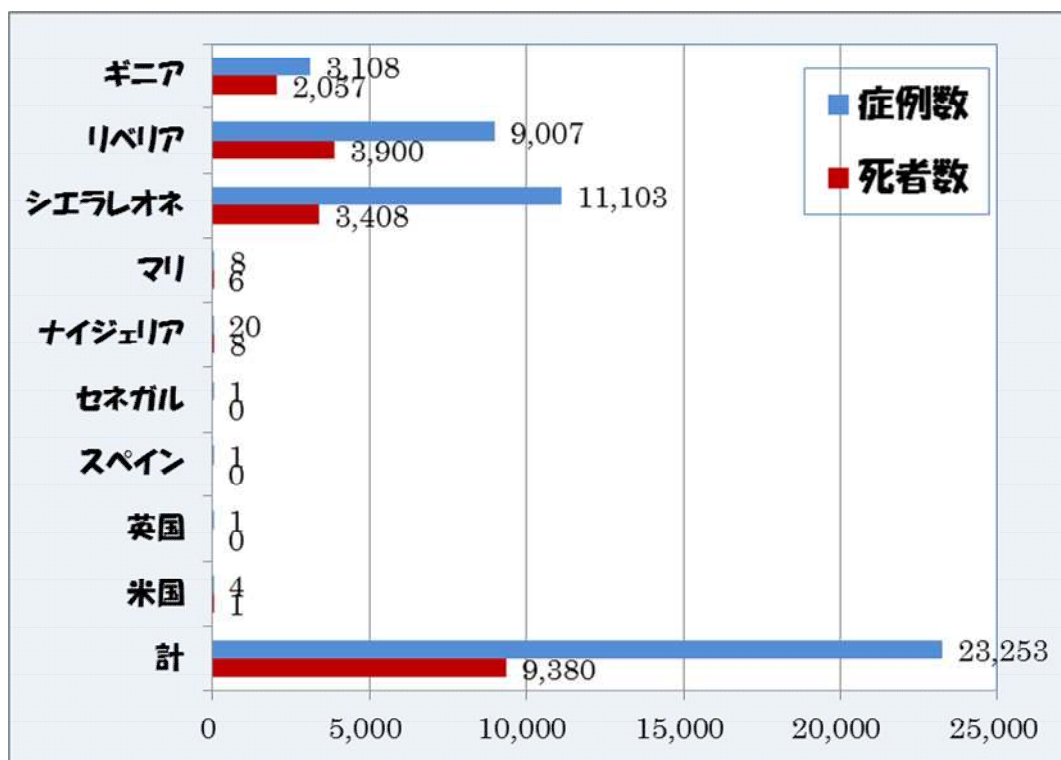
### エボラ状況報告 Ebola Situation Report

2015年2月18日

原文：

<http://apps.who.int/ebola/en/ebola-situation-report/situation-reports/ebola-situation-report-18-february-2015>

症例数（死者を含む）（2015年2月15日現在の情報）



#### 概要

- 2月15日までの週に、エボラウイルス病 (EVD) で合計 128 例の新規確定症例を報告。ギニアでは 52 例の新規確定症例が報告され、前の週から減少し、1月25日以降は減少傾向。シエラレオネでは 74 例の新規確定症例あり。感染は広域に残存しており、首都（フリータウン）で最も深刻で、45 例の確定症例が報告。リベリアでは2月12日までの4日間に2例の新規確定症例が報告。
- 地域と効果的に連携することは、ギニア、リベリアおよびシエラレオネの多くの地域で、症例を成功裏にゼロにするための手立ての一つであったが、かなりの地域では課題への取り組みを継続中。3か国とも、前の週と同様に、エボラ対応と関連した安全確保の必要な事例の増加を報告。2月15日までに、ギニアとシエラレオネでは、それぞれ 39 例と 45 例の安全でない埋葬事例が報告。また、治療施設以外での場所で死亡したヒト由来検体について検査を行った事例で、40 例を超える新規確定症例を確認。もしかすると、これらの人々は救命措置を受けていない可能性があるだけでなく、発症した当初に隔離された場合よりも、その他の地域社会の人々がより大きなリスクにさらされている。また、接触者の追跡も流行国の協力が頼りで、その協力が確保されな

くなつたときには、伝播の追跡網のために重要な任務遂行がより困難になる。ギニア東部にあるローラ (Lola) 県における地域と連携した成功例は、担当者が安全でない埋葬と関連した症例と接触者をたどることができたことであり、迅速に限局した発生を管理下に置くことができる。現在、よく似た対応が、感染が残っている地域で実施されなければならない。

- ギニアから報告された大部分の新規確定症例は、首都コナクリ (確定症例 13 例) とギニア西部のフォレカリア (Forecariah : 確定症例 24 例)。セネガルと隣接するギニア北部のマリ (Mali) では、2 例の新規症例が報告。
- コートジボワールと隣接する地域では、サーベイランスを強化する任務が進行中。さらに、ギニアビサウ、マリ、セネガルの国境付近のサーベイランスを強化するため、その準備作業が今月後半に計画されている。
- リベリアから、2 例の確定症例が報告。2 症例とも、単一の感染経路と関連したモンセラード (Montserrado) 郡の同じ地域から発生。
- 12 月～1 月の末までの間に、シエラレオネでは症例発生の急激な減少があり、現在、事例発生は落ち着いた状態。2 月 15 日までの週には 74 例の症例が報告 (前の週では 76 例の確定症例なので、同程度)。
- 入院症例 (報告のあった最終結果によるすべての確定症例から算出) の致死率は高率のままで、3 か国の流行国で 53%～64%。

滋賀県衛生科学センター内  
健康危機管理情報センター (仮訳)